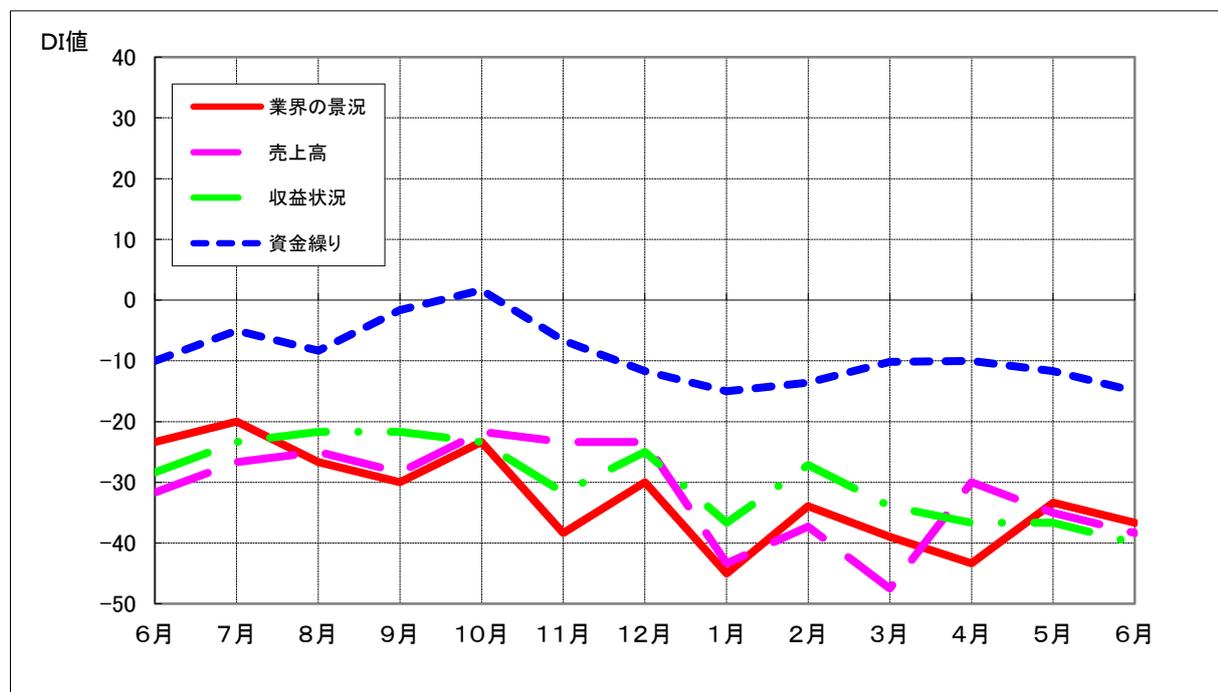


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年6月～平成27年6月

単位:ポイント



	H26					H27							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7
売上高	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3
収益状況	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0
資金繰り	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0

○6月のDI値は、前月と比べ、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「売上高」・「収益状況」・「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。前年同月と比べると、こちらも全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は13.4ポイント、「売上高」DI値は6.6ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイント悪化した。

情報連絡員の報告によると、円安による原材料の高騰および包装資材の値上げにより原価が上がり、総じて厳しい状況との声が寄せられたほか、本年度に入り売上減少が続き非常に厳しい状況が続いているものの、一部で増加の動きも出て来たとの声等が寄せられた。また、6月は上記項目DI値が前月比・前年同月比ともに悪化に転じていることから、引き続き先行きを注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、米菓製造業から、売上はほぼ前年並みを確保しているが、原材料価格の上昇と消費者の買い控えが不安材料であるとの報告が、作業工具製造業からは、地場産業は天候に恵まれアウトドア用品などが好調で、作業工具や利器工匠具は堅調な国内需要に加えて、円安により輸出も増加しているとの報告が出ている。非製造業では、自転車小売業から、自転車の販売台数が組合員3割に対し量販店7割で、年々格差が広がりつつあることが課題との報告が、商店街からは、本年度に入り売上減少が続き、非常に厳しい状況が続いているが、一部で増加の動きも出て来たとの報告が出ている。